

製品名: B4GALT5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00548**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 45 kDa; Observed MW: 40 kDa

抗原情報

遺伝子名	B4GALT5 B4GALT5; Beta-1; 4-galactosyltransferase 5; Beta-1; 4-GalTase 5; Beta4Gal-T5; b4Gal-T5;
別名	Beta-1; 4-GalT II; UDP-Gal:beta-GlcNAc beta-1; 4-galactosyltransferase 5; UDP-galactose:beta-N-acetylglucosamine beta-1; 4-galactosyltransferase 5
遺伝子 ID	9334
SwissProt ID	O43286
免疫原	抗血清はヒト B4GALT5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

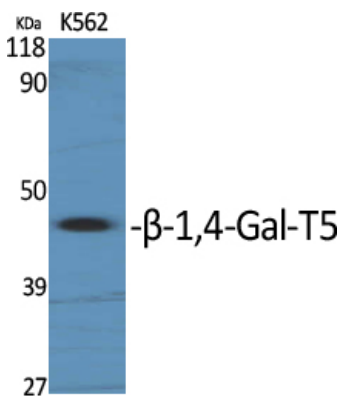
背景

この遺伝子は、7つの β -1,4-ガラクトシルトランスフェラーゼ (beta4GalT) 遺伝子の1つです。これらの遺伝子は、供与基質であるUDP-ガラクトースに特異的に特異性を持つII型膜結合型糖タンパク質をコードしています。これらの遺伝子はすべて、 β 1,4結合したガラクトースを、同様の受容体糖 (GlcNAc、Glc、Xyl) に転移します。それぞれのbeta4GalTは、異なる複合糖質および糖構造の生合成において、それぞれ異なる機能を有しています。II型膜タンパク質であるbeta4GalTは、タンパク質をゴルジ体へ誘導するN末端疎水性シグナル配列を有し、このシグナル配列は切断されずに膜貫通アンカーとして機能します。配列類似性により、beta4GalTは4つのグループに分類されます。beta4GalT1とbeta4GalT2、beta4GalT3とbeta4GalT4、beta4GalT5とbeta4GalT6、そしてbeta4GalT7です。この遺伝子によってコードされる酵素の機能は明らかではありません。この遺伝子は以前はB4GALT4と命名されていましたが、B4GALT5に改名されました。文献ではbeta4GalT2とも呼ばれています。

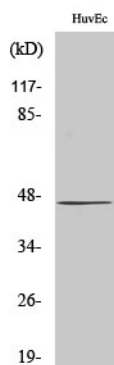
研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



B4GALT5 抗体を使用したさまざまな溶解物中の B4GALT5 のウエスタン ブロット分析。



β 1、4GalT5 抗体を用いた 293 溶解物中の B4GALT5 のウエスタンブロット分析。